



鹿田小だより



元気いっぱい 勉強こつこつ 親切ハートの
岡山市立鹿田小学校



令和2年度 第9号 9月16日



9月は防災月間です！



9月1日は防災の日です。大正12年9月1日に関東大震災が発生しました。神奈川県や東京都など南関東を中心に大きな地震があり、死者10万人以上、被害にあった人は190万人を超えています。その大惨事を忘れないため、また、この時期は台風の被害が多い時期でもあることから、1960年に9月1日を「防災の日」と定め、防災への備えについて考える日としているそうです。災害時は「自分の命は自分で守る」ことが大切です。そのためには、緊急避難グッズや非常食を準備したり、家族で安否確認の方法や集合場所について話し合ったりしておくなど、事前の準備が必要です。みなさんのご家庭ではいかがですか？また、昨年7月に鹿田小学校で行われた地区懇談会で、講師の西岡裕助さん（岡山北消防署）が「地域のつながりで守れる命がある。」というお話をしてくださいましたが、日頃から地域の方々と関係を築いておくことが災害時にも役に立つのだそうです。例年であれば、この時期は各地域で防災訓練が行われますが、今年は新型コロナウイルスの影響で中止になるものが多いと思います。まずは、家族で話し合い、いざという時に備えましょう。



山の学校、楽しかったよ！

9月11日（金）4年生の子どもたちが楽しみにしていた山の学校に行きました。新型コロナウイルスの影響で今年は日帰りでの実施となりました。また、暑さも心配されましたが、いつもとは違う自然の中で、楽しく活動することができました。保護者の皆様には事前の準備などで、大変お世話になりました。



入所のつどい～採火活動

8時30分に学校を出発。バスの乗降時にはアルコール消毒、バスの中ではマスクを着用してDVD鑑賞など、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら山の学校へ向かいました。入所のつどいでは、児童代表や教頭先生の話などの後、採火活動をしました。各クラス2名の採火係を中心にして輪になって座り、採火係を手拍子で応援しました。採火が成功すると、大きな拍手が沸き上がりました。みんなで協力しておこした火で、ランプに灯をともしました。



昼食～ネイチャーワーク～退所のつどい

昼食のお弁当は、少し雨が降っていたのでクラブ場で活動班ごとに食べました。いつもの給食と同じように黙って食べましたが、自然の中で食べるお弁当は格別おいしかったようです。

昼食後はいよいよネイチャーワークです。先ほどまで降っていた雨が見事に上がりました。活動班ごとに出発し、協力してチェックポイントを目指しました。

「山の中に入ると薄暗いところもあり、少し怖かったけど、友達がいてくれたので大丈夫でした。」「道があっているか不安になったとき、先生を見つけてとてもうれしかった。」

（以上子どもの感想です。）

下山が少し遅れたグループもありましたが、全員無事に下山しました。

退所のつどいでは児童代表のあいさつの後、ランプの灯を消して、山の学校にお別れをしました。



便座クリーナー

新型コロナウイルス感染症対策として、岡山市から「便座クリーナー」が配布されました。これは、洋式便座を使用する前に、トイレトーパーにクリーナー液を吹き付け、自分で拭き取るタイプの物です。8月28日（金）に「トイレトーパーはどのくらい巻けばいいのかわからないのか。」「クリーナー液はどのくらいつけばいいのかわからないのか。」などの説明VTRを見た後、8月31日（月）から使用が始まっています。学校生活の安全・安心がまた一つ増えました。



防災給食「救給カレー」

防災の日に合わせて、防災給食を実施しました。これは「いざという時のために、非常食を食べる経験をしておこう。」と岡山市全体で取り組んだものです。この日のメニューは、「米粉パン、牛乳、日向夏ゼリー」そして「救給カレー」でした。初めて食べる「救給カレー」でしたが、子どもたちにはおおむね好評で、中には「毎日でもいい！」という子もいました。

鹿田小学校では、保護者の皆様にご協力をいただき、「非常用クッキー」と「非常用飲料水」を全児童分準備しています。非常食を食べなければならない日が来なければいいですね。



学校長のつぶやき ～夏休みの思い出～

2学期が始まって数日たった朝、1年生が「虫捕り網」を持って登校してきました。学校の中庭で虫捕りをするのだそうです。その虫捕り網を見て、思い出したことがあります。それは私が子どもの頃の「セミ」捕りのことです。昨年の学校だよりも「セミ」のこと（セミの羽化）を書きましたが、今年もセミの思い出を一つ。

夏休みといえば、セミ捕り。ラジオ体操の後、朝食を食べるころには、もうセミが鳴き始めていました。虫捕り網も使ってはいましたが、面白かったのは、「手づかみ」や「クモの巣の虫捕り網」でした。昨年、科学研究でセミについて研究した児童によると、最近はクマゼミがほとんどで、アブラゼミはあまり見かけなくなったそうですが、私が子どものころは逆で、ほとんどがアブラゼミでした。クマゼミは、数が少なく、黒い胴体と透き通った羽が格好よくて、私たちはまるで貴重な宝石のように感じていたものです。セミを「手づかみ」で捕まえるのは難しいのですが、それだけに捕まえることができた喜びはまた格別でした。手の中で激しく動くセミの力強さ、負けまいとこちらにも力を入れる、そんな感覚がまだ手の平に残っています。

「クモの巣の虫取り網」を知っている（作ったことがある）人がどのくらいいるでしょうか。針金を輪にしたものを竹の棒の先に取り付け（多くは網の破れた虫捕り網でしたが）、大きなクモの巣を見つけては、その針金の輪に巻き付けていきます。（クモさんには申し訳なかったですね。）クモの巣にくっつけて捕るといよりは、セミの体にクモの巣をくっつけて飛ばなくして捕る、という感じでした。

虫捕り網に限らず、破れたから、壊れたからといっても簡単には買ってはもらえず、自分たちで何やら工夫して遊んでいたものです。工夫とは「よい方法や手段を見付けようとして、考えをめぐらすこと」です。今、コロナ禍にあっても、私たちは感染を防ぐとともに、より快適な生活になるようにと、様々な工夫を積み重ねています。まだまだ終わりは見えてきませんが、みんなで力を合わせ、知恵を出し合い工夫することで、安全安心な、そしてより豊かな生活を築いていきたいですね。（ちなみに学校の中庭では、ほとんど虫は捕まえられませんでした・・・残念！！）



募集のお知らせ…給食調理員さん(4～7時間程度の勤務)を募集しています。詳しくは、鹿田小学校(225-4646)西村教頭までご連絡ください。